

令和2年度 第2学年 道徳科年間指導計画

調布市立第四中学校

月	週	主 題 名	内容項目	資 料 名	出 典
		ねらい・内容等			
6	1	【良好な関係を目指して】	B(7)礼儀	1 あいさつ	新しい道徳2（東京書籍）
		あいさつや礼儀の意義を考えることを通して、時と場に応じて主体的に適切な言葉づかいや行動をとろうとする意欲や態度を育てる。			
	2	【生活習慣を見直そう】	A(2)節度、節制	2 ばなしの女王	新しい道徳2（東京書籍）
		自分の生活を見直そうとする作者の思いを考えると、望ましい生活習慣を身につけることのよさに気づき、節度のある生活を心がけようとする態度を育てる。			
6	3	【いじめのない世界へ（1）】	C(11)公正、公平、社会正義	4 私のせいじゃない	新しい道徳2（東京書籍）
		「私のせいじゃない」に描かれている泣いている子の立場に立っていじめの問題について考え、だれに対しても公正に接し、差別や偏見のない社会をつくろうとする心情を養う。			
7	4	【いじめのない世界へ（2）】	A(1)自主、自律、自由と責任	5 あの子のランドセル	新しい道徳2（東京書籍）
		過去の自分の行動に心を痛める主人公の気持ちを考えることを通して、自分の良心に従って行動することの大切さに気づき、自ら責任をもって行動しようとする態度を養う。			
	5	【情報モラルと友情】	B(8)友情、信頼	6 ゴール	新しい道徳2（東京書籍）
		感情的なすれ違いを乗り越えながら真の友情を築こうとする主人公たちの姿を通して、共に励まし合い、高め合って友情を深めようとする心情を育てる。			
7	6	【あきらめない気持ちで】	A(4)希望と勇氣、克己と強い意志	7 左手でつかんだ音楽	新しい道徳2（東京書籍）
		息子から贈られた楽譜をきっかけに再起を果たすまでの館野さんの気持ちの変容を考えると、希望と勇氣をもって夢や理想を実現していこうとする意欲を養う。			
	7	【歩調を合わせて】	B(9)相互理解、寛容	8 遠足で学んだこと	新しい道徳2（東京書籍）
		「みんなちがって、みんないい。」という言葉の意味を考えると、異なる個性や立場を尊重し、寛容の心を持って相手の生き方に謙虚に学ぼうとする態度を育てる。			
8	8	【「今」を生きる私のために】	A(3)向上心、個性の伸長	10 私は十四歳	新しい道徳2（東京書籍）
		不安や悩みを乗り越え、自分らしい生き方を模索していく作者の姿を通して、自己を見つめ、自分の良さを生かし伸ばしていく充実した生き方をしようとする意欲を高める。			
9	9	【郷土の魅力にふれて】	C(10)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	11 祭りの夜	新しい道徳2（東京書籍）
		地域社会の一員としての自覚をもち、地域の文化や伝統のよさに気づく作者の心情に寄り添うことで、郷土に対する認識を深め、進んでその発展に努めようとする心情を養う。			
10	10	【例えば君なら】	C(10)遵法精神、公德心	12 許さない心	新しい道徳2（東京書籍）
		祭りの場面での中学生、高校生の行動に対する作者の意見を通して、周囲の問題に無関心であることの問題点と決まりや規則の意義を理解し、それを進んで守ろうとする意欲を高める。			
	11	【「和食」の良さって何だろう】	C(11)我が国の伝統と文化の尊重、同を愛する態度	13 心でいただく伝統の味	新しい道徳2（東京書籍）
		和食を通して日本文化の良さについて話し合い、日本の伝統と文化を継承するとともに新しい文化を創造してその発展に努めようとする意欲を高める。			
10	12	【誇りを胸に】	C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	16 四十七年に感謝をこめて	新しい道徳2（東京書籍）
		心を一つにして「140メートルの誇り」を作る中学生の思いに共感するとともに、学校に対する誇りと感謝の気持ちをもって、自らの果たす役割を自覚することで、協力し合って学校生活を充実させようとする態度を育てる。			
	13	【だれのために働く】	C(13)勤労	18 震災の中で	新しい道徳2（東京書籍）
		ボランティア活動を通して、作者が感じた「働くことのすばらしさ」について話し合い、勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献しようとする態度を育てる。			
11	14	【垣根をこえて】	C(18)国際理解、国際貢献	19 六千人の命のビザ	新しい道徳2（東京書籍）
		杉原さんの苦悩を通して、世界の中の日本人として、人類愛の精神に基づき、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする心情を育てる。			
11	15	【真実を求め続けて】	A(5)真理の探究、創造	20 赤土の中の真実	新しい道徳2（東京書籍）
		真実を見極めようと、精励し続けた相沢さんの生き方を通して、真実や真理を求め、探究し続けようとする意欲を育む。			
12	16	【たがいに支え合う社会】	C(12)社会参画、公共の精神	21 今度は私の番だ	新しい道徳2（東京書籍）
		右足を失いながらもスポーツによって乗り越えた真海さんが、被災した故郷の支援活動を行う姿を通して、社会的な役割や責任を果たし、主体的によりよい社会の形成に参画しようとする心情を深める。			
12	17	【敬意をもって自然と接する】	D(21)感動、畏敬の念	22 夜は人間以外のものの時間	新しい道徳2（東京書籍）
		悩みながらも自分の弱さを克服したエイミーに共感し、人間には自らの弱さを克服する強さがあることを理解し、誇りをもって気高く生きていこうとする心情を育てる。			
1	18	【人間の強さ・気高さ】	D(22)よりよく生きる喜び	23 人間の強さ・気高さ/本当の私	新しい道徳2（東京書籍）
		悩みながらも自分の弱さを克服したエイミーに共感し、人間には自らの弱さを克服する強さがあることを理解し、誇りをもって気高く生きていこうとする心情を育てる。			
2	19	【いのちを考える（1）】	D(19)生命の尊さ	26 奇跡の一週間	新しい道徳2（東京書籍）
		北村さんとの出会いを通して「私」が考えた「いのち」について考え、かけがえのない生命をいとおしみ、限りある生命を輝かせて生きていこうとする心情を育てる。			

	週	主 題 名	内 容 項 目	資 料 名	出 典
		ねらい・内容等			
2	20	【支え合いの中で】	B(6) 思いやり, 感謝	28 愛	新しい道徳2 (東京書籍)
		健おじさんの、姉の命を大切に思う気持ちや深い愛情について考えることを通して、思いやりの根底には人間尊重の精神があることを理解し、ともに助け合い、協力し合って生きていこうとする心情を育てる。			
3	21	【思いを形に】	C(14) 家族愛, 家庭生活の充実	29 ごめんね, おばあちゃん	新しい道徳2 (東京書籍)
		祖母に対する主人公の心情の変化について考え、父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としてより充実した家庭生活を築こうとする意欲を養う。			
	22	【自然環境に優しく】	D(20) 自然愛護	30 冬の使者「マガン」	新しい道徳2 (東京書籍)
		マガンの調査をする主人公たちの活動を通して、自然と人間との関わりについて考え、自ら進んで自然環境の保全に努めようとする態度を育てる。			